

システムコントローラ ユーザーマニュアル

SPC-2010

システムコントローラ ユーザーマニュアル

Copyright

©2017 Hanuwa Vision Co., Ltd. All rights reserved.

商標について

本書に記載されている各商標は登録済みです。本書に記載されている本製品の名称およびその他の商標は、各社の登録商標です。

制約について

本書の著作権は留保されています。どのような状況であっても、本書の一部または全体を複製、配布または変更するには、正式な認可が必要です。

免責事項について

Hanuwa Vision はマニュアルの完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。このマニュアルの使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。

Hanuwa Vision は事前の通知なしにこのマニュアルの内容を変更する権利を留保します。

- ❖ 設計および仕様は予告なく変更する場合があります。
- ❖ デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。
パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連の問題が起こった場合は、ユーザーの責任となります。

概要

重要な安全ガイド

1. 本書の説明をよく読んで下さい。
2. 本書の指示を守ってください。
3. 全ての警告を留意してください。
4. 全ての指示に従って下さい。
5. 本機を水の傍で使用しないで下さい。
6. 柔らかく乾いた布が湿った布で製品表面の汚れた部分を拭き取ります。
(アルコール成分、溶剤、界面活性剤や油分を含む洗剤や化粧品を使用しないでください。製品の变形や損傷につながる恐れがあります。)
7. どの換気孔も塞がないようにして下さい。メーカーの指示に従って取り付けして下さい。
8. ラジエーター、熱レジスタ、あるいは熱を発するその他の装置（アンプを含む）などの熱源の傍に設置しないで下さい。
9. 分極タイプあるいは接地タイプのプラグの安全目的を必ず守ってください。分極プラグには一方が他方より幅広い2本の足が付きます。接地プラグには2本の足とアース（接地）差込み先が付いています。2本の平たい足あるいは3本めの差込み先はユーザーの安全のために付いています。提供されたプラグがお使いのコンセントに合わない場合には、旧式のコンセントの交換について電気技師にご相談下さい。
10. 特にプラグ、ソケット、機器との接点でコードが踏まれたり引っ張られたりしないよう電源コードを保護してください。
11. メーカーが指定する付属品のみを使用してください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケットはメーカー指定のもの、あるいは製品と一緒に販売されたもののみを使用してください。カートを使用する場合、カートと製品を動かす際には転倒による損傷に注意してください。
13. 雷雨のときまたは長期間使用しない場合は、製品の電源プラグを抜いてください。
14. 全ての修理は資格のあるサービス・スタッフに任せて下さい。
修理は電源コードあるいはプラグの損傷、液体をこぼした、または物体を機器内に落としてしまった、機器を雨や湿度にさらしてしまった、正常に機能しない、あるいは機能の低下など、様々な原因で機器が損傷した場合に必要となります。



概要

警告

火災または感電防止のため、この装置を雨または湿気にさらさないでください。本製品の換気グリルまたはその他の開口部から金属製物質を差し込まないでください。

製品に液体をこぼしたりかけたりせず、また花瓶のように液体が入った物体を製品の上に載せたりしないでください。

注意

	注意 感電の危険がありますので開けないで下さい	
注意：感電の恐れがありますので裏カバーは開けないで下さい。 如何なる場合にも本品の分解や改造を行わないで下さい。 資格のあるサービス・スタッフにお問い合わせ下さい。		

グラフィック記号の説明



正三角形内の稲妻型の矢印は、本製品の筐体に人が感電する恐れのある"高圧電流"が存在することを、ユーザーに警告するものです。



正三角形内の感嘆符は、製品の操作およびメンテナンス（修理）に関する重要な付属説明書があることをユーザーに知らせるものです。

次に示す安全のための推奨注意事項を熟読してください。

- 本製品は平らな場所に置いてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房設備または低温区域の近くには取付けしないでください。
- 本製品を接近して置かないでください。
- 本製品は自分で修理しないでください。
- 本製品の上に水の入ったコップを置かないでください。
- 磁気源のそばに取付けしないでください。
- 換気口は塞がないようにしてください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。

ユーザーマニュアルは、本製品の使用方法に関するガイドブックです。
このマニュアルで使用する用語の意味を次に示します。

- 参照: 製品の使用方法についてのヘルプ情報を示す場合。
 - 注意: 指示に従わないことで、ものや人に損害が発生する可能性がある場合。
- ※ 製品を使用する前に安全のためこのマニュアルを読み、大切に保管しておいてください。

概要

目次

概要	3	重要な安全ガイド
	6	目次
	8	主な特徴
	9	キット内容
	10	システムコントローラの外観

3

設置	13	注意事項
----	----	------

13

外部デバイスへの接続	14	RS-485/422デバイスを接続するには
------------	----	-----------------------

14

メニューの使用	19	はじめに
	19	PTZカメラの制御
	24	DVRの制御

19

メニュー設定

26

- 26 PTZ設定
- 27 DVR設定
- 28 コントローラ設定
- 31 ジョイスティックの校正

付録

32

- 32 仕様
- 34 製品ビュー
- 35 トラブルシューティング

概要

主な特徴

SPC-2010システムコントローラを使用すると、RS-485/422通信を使用してPTZカメラやDVRなどの外部デバイスを制御することができます。

このコントローラのインタフェースには、使いやすいジョイスティックが採用されています。

- 長距離遠隔制御
- RS-485/422通信を使用して、最長1kmの範囲で制御することができます。
- 統合システム制御
- 1台のシステムコントローラですべてのカメラ(レシーバーユニット)およびDVRを制御することができます。

互換性リスト

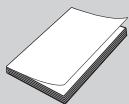
- カメラ
- DVR
SRD-XXXXシリーズ (SRD-480Dではサポートされていません。)

キット内容

製品パッケージを開け、製品を床または平らな場所に置いてください。
製品パッケージに、次の部品がすべて同梱されていることを確認してください。



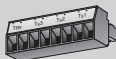
メインユニット



ユーザーマニュアル



電源アダプタ1個



ターミナルブロック1個

概要

システムコントローラの外観

前面

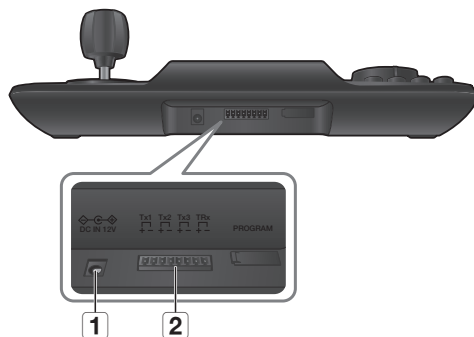


項目	説明
1 DVR再生バー	再生/一時停止、早送り/早戻し、停止、録画します。
2 ESC / PWR	コマンドの取り消し、または電源のオン/オフを行います。
3 LCDディスプレイ	システムコントローラの操作状態および設定メニューを表示します。
4 コントローラ選択バー	カメラ、モニターまたはDVRの選択に使用します。
5 ジョイスティックコントローラ	PTZカメラまたはレシーバーユニットと接続してパンニング/チルト操作を上/下に操作することができます。 ジョイスティックを反時計回りまたは時計回りに回してズームを制御します。 接続したコントローラのメニュー画面からコントローラの方法を制御することができます。
6 カメラ操作バー	プリセット、グループ、オートフォーカスおよび補助出力機能を実行します。
7 DVRコントロールバー	選択したDVRの音声、検索、画面モード選択、フリーズおよびアラーム制御を実行します。

項目	説明	
8 カメラレンズバー	IRIS	絞りの制御 (-: CLOSE/+: OPEN)
	FOCUS	焦点の調節 (-: NEAR/+: FAR)
	ZOOM	ズームイン/ズームアウト (W: WIDE/T: TELE)
9 その他	MENU	PTZおよびDVRメニューの表示
	FUNC	[FUNC]ボタンを押して、目的の機能ボタンを実行します。
	SETUP	数字ボタンと[SETUP]ボタンを押して、設定メニューを表示します。
	 PTZ	DVRに接続されたカメラを制御するにはDVRモードで使用します。
10 数字 (0-9)、ENT、CLR ボタン	数字 (0-9)	カメラ、モニタ、DVRまたはプリセット設定を指定するときに使用します。
	ENT	ナビゲーションボタンを使用して目的の項目に移動して選択します。
	CLR	現在の操作を取り消します。
11 ジョグシャトル	Jog	DVR再生モードで順方向/逆方向フレームを検索します。
	Shuttle	DVR再生モードで順方向再生/逆方向再生/再生/高速再生/逆再生を選択します。

概要

背面



項目	説明
1 電源	DC 12V入力ポート(⬡⬢⬡)
2 RS-485/422	RS-485/422通信によってカメラ、DVRおよび他の制御デバイスに接続します。



■ [PROGRAM]にはユーザーはアクセスすることはできません。

注意事項

システムコントローラを設置する前に、次をよく読んで指示に従ってください。

- この製品は室内での使用のみを想定しています。
- 水や湿気のある場所では使用しないでください。
- 製品に過度に力を加えないでください。
- 電源ケーブルを強引に抜かないでください。
- 製品を自分で分解しないでください。
- 定格の入力/出力範囲内で使用してください。
- システムコントローラは平らな台の上に設置してください。
- システムコントローラおよび配線のレイアウトは、システムを適切に操作する上でとても重要です。
- 製品を設置する前に電源をオフにする必要があります。
- 激しい衝撃や振動を与えると、システム障害が発生する可能性があります。
- 強い電磁場や電氣的干渉が発生している場所、またはラジオやテレビなどの無線機器に製品を近づけないでください。
- システムコントローラの設置時または設置後は常に設置場所をきれいにし、ほこりがないようにしてください。
- 異常な煙や異臭を放置すると、火災または感電を引き起こす可能性があります。
このような場合は、システムコントローラの電源をすぐにオフにし、弊社の技術サポートにお問い合わせください。
- 床の湿気、接地されていない電源延長コード、はがれた電源コード、または不完全なアースなどを発見したら、適切な処置を講じてください。
- 動作温度: 0℃～40℃
- 保存温度: -30℃～+60℃
- 動作湿度: 20%～85% RH
- 保存湿度: ～90% RH
- 消費電力: DC 12V、最大1.1W(⦿→⦿→⦿)



- 製品は乾いた布で拭いてください。製品の汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭いてください。
アルコール、ベンゼンまたはシンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。製品の表面が損傷する場合があります。

外部デバイスへの接続

SPC-2010システムコントローラは、カメラやDVRなどの外部デバイスに接続して使用することができます。

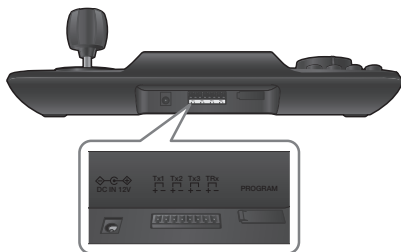
RS-485/422デバイスを接続するには

このシステムコントローラでは、RS-485/422通信プロトコルをサポートしているPTZカメラまたはDVRを制御することができます。

1. 背面にあるTx1とPTZカメラまたはDVRのRS-485ポートを接続します。
2. 選択する外部デバイスに応じて、RS-485（半二重）またはRS-422（全二重）接続のいずれかを選択します。



- RS-485/422通信の場合、極性 (+/-) に特に注意してください。
- 製品パッケージに含まれているターミナルブロックを使用してください。
- RS-485/422デバイスがSPC-2010と互換性があるかチェックしてください。

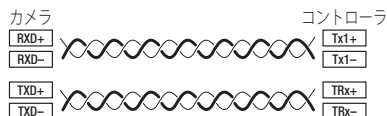


RS-485/422信号線の接続

• RS-485通信



• RS-422通信



- Tx1の代わりにTx2またはTx3端子を使用することもできます。

PTZカメラの接続

PTZカメラの背面にあるRS-485ポートをSPC-2010のTxに接続することによって、このPTZカメラを制御することができます。

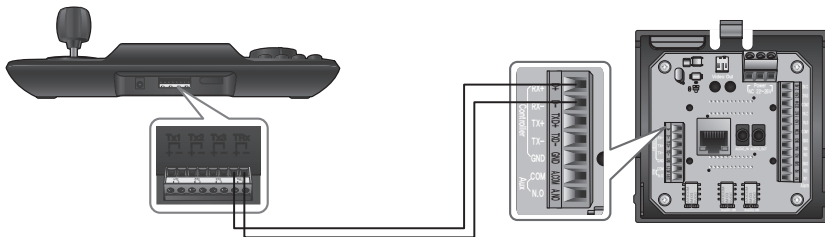


- 極性はカメラによって異なります。

詳細は、PTZカメラのユーザーマニュアルを参照してください。

半二重システムの場合

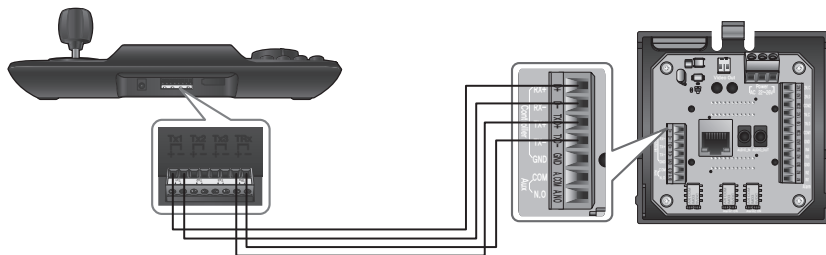
- PTZカメラのRS-485ポートのRx(+)をSPC-2010のTRx(+)に接続します。
- PTZカメラのRS-485ポートのRx (-)をSPC-2010のTRx(-)に接続します。
 - DVRデバイスを使用せずにPTZカメラを接続する場合、TRxの代わりにTx1、Tx2またはTx3に接続することができます。



外部デバイスへの接続

全二重システムの場合

- PTZカメラのRS-485ポートのRx(+)をSPC-2010のTx1(+)に接続します。
- PTZカメラのRS-485ポートのRx(-)をSPC-2010のTx1(-)に接続します。
- PTZカメラのRS-485ポートのTx(+)をSPC-2010のTRx(+)に接続します。
- PTZカメラのRS-485ポートのTx(-)をSPC-2010のTRx(-)に接続します。

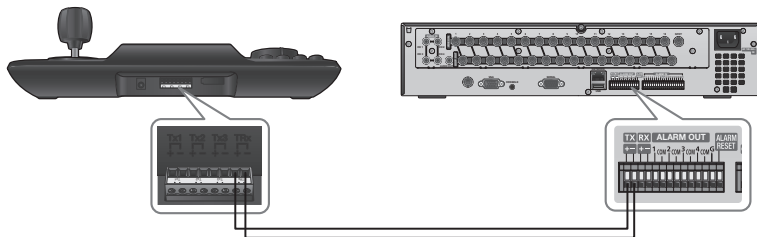


SRD-16XX/8XXシリーズDVRの接続

DVRの背面にあるRS-485ポートを使用してDVRとSPC-2010を接続します。

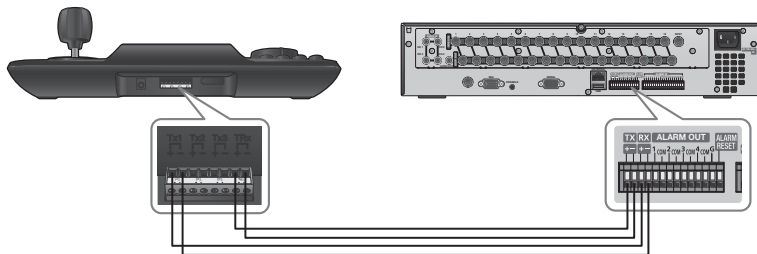
半二重システムの場合

- DVRのRS-485ポートのTx (+) をSPC-2010のTRx (+) に接続します。
- DVRのRS-485ポートのTx (-) をSPC-2010のTRx (-) に接続します。



全二重システムの場合

- DVRのRS-485ポートのTx (+) をSPC-2010のTRx (+) に接続します。
- DVRのRS-485ポートのTx (-) をSPC-2010のTRx (-) に接続します。
- DVRのRS-485ポートのRx (+) をSPC-2010のTx1 (+) に接続します。
- DVRのRS-485ポートのRx (-) をSPC-2010のTx1 (-) に接続します。



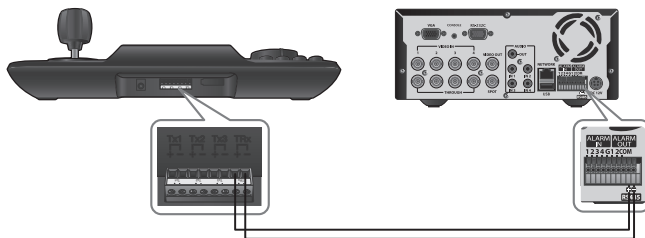
外部デバイスへの接続

SRD-4XX DVRの接続

SRD-4XXの背面にあるRS-485ポートをSPC-2010に接続します。

半二重システムの場合

- SRD-4XXのTx (+) をSPC-2010のTRx (+) に接続します。
- SRD-4XXのTx (-) をSPC-2010のTRx (-) に接続します。



 ■ SRD-480Dではサポートされていません。

メニューの使用

はじめに

電源

1. 電源がオフの場合は、[PWR]を押すとオンになります。
2. 電源がオンの場合は、[PWR]を押し続けるとオフになります。

初期画面

- SAMSUNG-T: カメラまたはDVRに使用されている現在のチャンネルのプロトコルを示します。
- 9.6K: カメラまたはDVRに設定されている現在のチャンネルのボーレートを示します。
- ID: 現在のチャンネル番号を示します。

SAMSUNG-T 9.6K
ID : 001

PTZカメラの制御

PTZコントロールモードにするには

[PTZ/DVR]ボタンを押すとPTZコントロールモードに切り替わります。

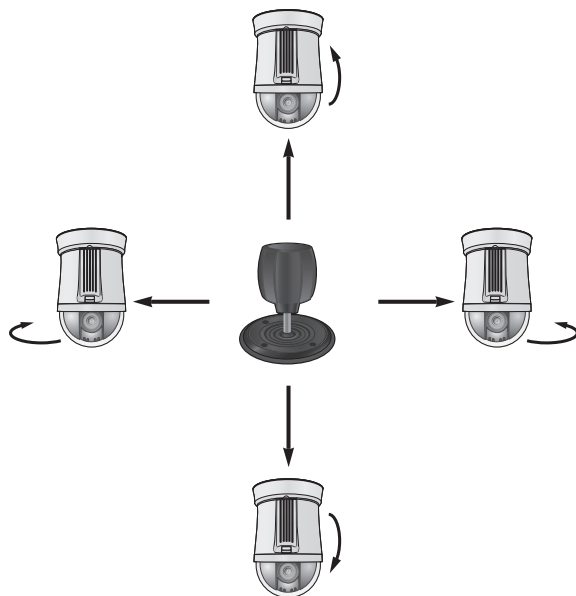
カメラを選択するには

1. 数字ボタンを使用して、選択したカメラの番号を入力します。
2. [CAM]または[ENT]ボタンを押して、カメラIDを選択した番号に設定します。
 - 1~255を設定することができます。
 - ID 0を使用できるのはSAMSUNG-T/Eプロトコルの場合のみです。

メニューの使用

パンニング/チルトコントロール

ジョイスティックコントローラを使用して、カメラのパンニング/チルト角度を調整することができます。
ジョイスティックの中心から離れるほど、動作速度は速くなります。



絞り

コントローラの[IRIS - / +]を押して、カメラ映像の輝度を調整します。

- IRIS -: カメラが明るくなります。
- IRIS +: カメラが暗くなります。

フォーカス

コントローラの[FOCUS - / +]を押して、カメラの焦点を合わせます。

- FOCUS -: 焦点が近くなります。
- FOCUS +: 焦点が遠くなります。

ズーム

ジョイスティックを時計回りに回転するか、[T]を押してカメラのズームイン操作を制御します。

ジョイスティックを反時計回りに回転するか、[W]を押してカメラのズームアウト操作を制御します。

- ZOOM W: 広角でズームします。
- ZOOM T: 望遠でズームします。



<広角ズームアクション>



<望遠ズームアクション>

メニューの使用

プリセット

カメラを事前に設定したポイントに移動します。

プリセットを設定するには

1. ジョイスティックおよびコントローラボタンを使用して、カメラを目的の位置に移動します。
2. プリセット番号を入力します。
3. [PRESET]ボタンを2秒間押し続けて、プリセット位置を保存します。

プリセットを実行するには

1. カメラを選択します。
2. 数字ボタンを使用して目的の番号を入力し、[PRESET]を押します。
3. プリセットが実行されます。

-  ■ プリセット番号はコントローラを使用して1~255まで選択することができます。最大プリセット位置番号はカメラモデルによって異なります。(詳細は、カメラのユーザーマニュアルを参照してください)。
- プリセット位置はカメラのOSDメニューで設定することができます。

グループ

複数のプリセットを順に呼び出す前にこれらをグループ化することができます。

グループを設定するには

1. グループ番号を入力します。
2. [GROUP]ボタンを押して、グループモードを有効にします。
 - グループモードを中断するには、ジョイスティックを動かします。

-  ■ グループモードを使用するには、実際に操作する前にカメラのOSDメニューでモードを設定する必要があります。
- グループ機能を使用できるのは、SAMSUNG-T/Eプロトコルの場合のみです。SAMSUNG-Eプロトコルでは、SCAN機能を使用することができます。

オートフォーカス

1. [A/F]ボタンを押します。
2. カメラのワンショットオートフォーカス機能を実行します。

 ■ オートフォーカス機能は、SAMSUNG-T/EおよびPelco-D/Pプロトコルで使用することができます。

補助

カメラの補助出力操作を制御します。

- AUX ON: 目的のAUXチャンネルの番号を押してから[AUX]ボタンを短く押して、補助出力をオンに設定します。
- AUX OFF: 目的のAUXチャンネルの番号を押してから[AUX]ボタンを約2秒間押して、補助出力をオフに設定します。

 ■ 補助機能は、SAMSUNG-T/EおよびPelco-D/Pプロトコルで使用することができます。

メニューの使用

DVRの制御

使用可能なDVRの機能は、モデルによって異なります。
詳細は、該当するユーザーマニュアルを参照してください。



- 設定が不適切な場合、DVRの使用時に問題が生じることがあります。

DVRコントロールモードを表示するには

[PTZ/DVR]ボタンを押すと、DVRコントロールモードに切り替わります。

DVRを選択するには

1. 数字ボタンを使用してDVR番号 (0～255) を入力し、[ENT]を押します。
2. 選択したDVRモデルに応じた画面が表示されます。



- PTZコントロールは、選択したDVRで設定された設定に同期化されます。DVRのPTZ設定を変更した場合は、上記の説明に従ってDVRを選択し、変更した設定に同期を更新してください。

DVRチャンネルを選択するには

1. 数字ボタンを使用して目的のDVRチャンネルの番号を入力します。
2. [CAM]を押します。



- [FUNC]ボタンを押したままチャンネルの数字ボタンを選択し、目的のDVRチャンネルに切り替えます。(チャンネル1～9)

DVRスポットモニタの制御

スポット出力をサポートするDVRを使用する場合、次のボタンを続けて押してスポット出力を制御します。

- 選択したDVRのスポットチャンネルを目的のカメラ映像に切り替えるには:
SPOTモニタ番号 + [MON] + チャンネル番号 + [CAM]
- 選択したDVRのスポットチャンネルを目的のDVRの分割画面モードに切り替えるには:
SPOTモニタ番号 + [MON] + [MODE]

DVRメニューを制御するには

1. 選択したDVRのメニューを制御するには、DVRコントロールバーで[MENU]を押します。
2. ジョイスティックと[ENT]を使用して、DVRメニューを確認します。

DVRに接続されたPTZデバイスを制御するには

使用しているDVRモデルによっては、DVRに接続されているPTZカメラを直接制御できない場合があります。

その場合は、DVRコントロールモードで[PTZ/DVR]ボタンを押してカメラのコントロールモードに切り替えると、カメラを制御できるようになります。

PTZデバイスをDVRモードで制御するには

1. DVRコントロールモードで [PTZ] ボタンを押すと、LCDスクリーン右下に“ ”が表示されます。
2. PTZ制御を適用するチャンネルを選択します。
3. ジョイスティックを使用して、DVRに接続されたPTZカメラを制御します。
4. [PTZ] ボタンをもう一度押します。モニタの右下にある“ ”が消え、前のモードに戻ります。

DVRログイン

DVRメニューにアクセスする場合、DVRの設定によってはログイン時にパスワードを求められる場合があります。

- DVR/パスワードはチャンネル選択と同じ方法で入力することができます。
例) DVRのパスワードが“4321”である場合、次のボタンを続けて押してDVRにログインします。
[4] + [CAM] + [3] + [CAM] + [2] + [CAM] + [1] + [CAM]

-  ■ DVR/パスワードは[FUNC]ボタンを使用して入力することもできます。
“DVRチャンネルを選択するには”(24ページ)を参照してください。

メニュー設定

PTZ設定

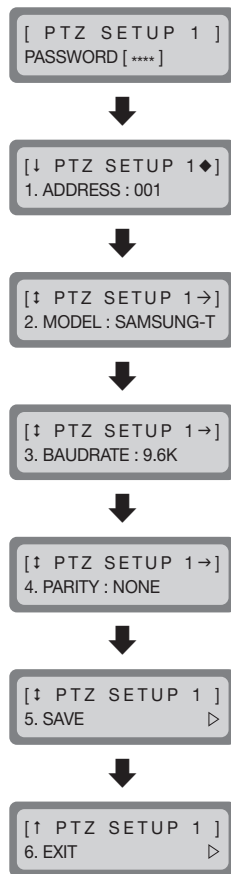
PTZ設定画面から、プロトコルとボーレートを指定することができます。

1. 数字パッドで[1]を押します。
[SETUP]ボタンを押し続けて、PTZ SETUPモードを表示します。
2. 4桁のパスワードを入力します。
 - デフォルトのパスワード: 4321

! ■ デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。
パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連問題が発生した場合は、ユーザーの責任となります。
3. チャンネルアドレスを変更するには、ジョイスティックを左右に動かしてチャンネルを選択します。または、チャンネル番号を入力して、[ENT]ボタンを押します。
4. 選択したチャンネルの<MODEL>、<BAUDRATE>および<PARITY>設定を変更します。

Ⓜ ■ オプション間を移動するには、ジョイスティックを上下に動かします。
■ 設定値を変更するには、ジョイスティックを左右に動かします。
■ デフォルトの設定値については、右図を参照してください。
■ プロトコル: Hanwha Vision SAMSUNG-T
BAUDRATE : 9.6K, PARITY : NONE
5. <SAVE>メニューを選択し、変更を保存します。
別のチャンネルを選択して設定変更を続けることもできます。初期画面を終了するには、<EXIT>メニューを選択するか、[ESC]ボタンを押します。

! ■ チャンネルの設定を変更した後、<SAVE>メニューを選択する必要があります。
<SAVE>メニューを使用せずに別のチャンネルに移動すると、変更は保存されません。
■ コントローラのシリアル設定の場合、データビットは8、ストップビットは1に固定されます。
コントローラとカメラのシリアル値は一致している必要があります。
■ ID 0を使用できるのはSAMSUNG-T/Eプロトコルの場合のみです。



DVR設定

DVR設定画面で、DVRタイプおよびボーレートを設定することができます。

1. 数字パッドで[2]を押します。
[SETUP]ボタンを押し続けて、DVR SETUPモードを表示します。

2. 4桁のパスワードを入力します。
 - デフォルトのパスワード: 4321

- !** ■ デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連問題が発生した場合は、ユーザーの責任となります。

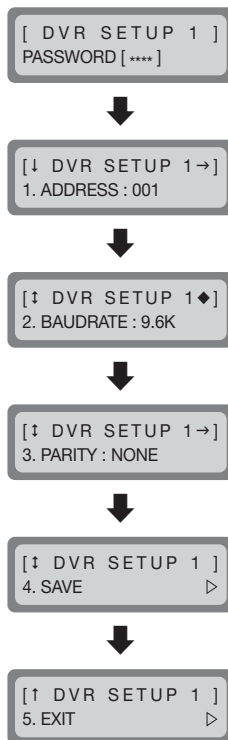
3. チャンネルアドレスを変更するには、ジョイスティックを左右に動かしてチャンネルを選択します。または、チャンネル番号を入力して、[ENT]ボタンを押します。

4. 選択したチャンネルの<BAUDRATE>および<PARITY>設定を変更します。

- ☑** ■ オプション間を移動するには、ジョイスティックを上下に動かします。
- 設定値を変更するには、ジョイスティックを左右に動かします。
 - デフォルトの設定値については、右図を参照してください。
BAUDRATE : 9.6K, PARITY : NONE

5. <SAVE>メニューを選択し、変更を保存します。
別のチャンネルを選択して設定変更を続けることもできます。初期画面を終了するには、<EXIT>メニューを選択するか、[ESC]ボタンを押します。

- !** ■ チャンネルの設定を変更した後、<SAVE>メニューを選択する必要があります。
- <SAVE>メニューを使用せずに別のチャンネルに移動すると、変更は保存されません。
 - コントローラのシリアル設定の場合、データビットは8、ストップビットは1に固定されます。コントローラとカメラのシリアル値は一致している必要があります。



メニュー設定

コントローラ設定

1. 数字パッドで[3]を押します。
2. [SETUP]ボタンを押し続けて、コントローラのMAIN SETUPモードを表示します。
3. 4桁のパスワードを入力します。
 - デフォルトのパスワード: 4321

[MAIN SETUP]
PASSWORD [****]

-  ■ デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。
パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連問題が発生した場合は、ユーザーの責任となります。

4. 設定を変更した後、<SAVE /EXIT>メニューで<YES>を選択し、変更を保存して初期画面に戻ります。変更を取り消して初期画面に戻るには、<SAVE/EXIT>メニューで<NO>を選択するか、[ESC]ボタンを押します。

[↑ MAIN SETUP]
10. SAVE/EXIT ▶

-  ■ オプション間を移動するには、ジョイスティックを上下に動かします。
- 設定値を変更するには、ジョイスティックを左右に動かします。
 - デフォルトの設定値については、右図を参照してください。

ファームウェアバージョン

コントローラのファームウェアの現在のバージョンが表示されます。

[↓ MAIN SETUP]
1. v1.00_XXXXXX

シリアルデータ転送の標準

シリアル通信モードは<RS485>および<RS422>から選択することができます。

[↑ MAIN SETUP ←]
2. COMM : RS485

LCDバックライト

コントローラのLCD/バックライト設定は、OFF、ONまたはAUTOに設定することができます。

- AUTO: 30秒間コマンドが入力されなかった場合、バックライトを自動的にオフにします。
- ON: バックライトを常にオンにします。
- OFF: バックライトを常にオフにします。

[↑ MAIN SETUP ←]
3. BACKLIGHT : AUTO

スリープ

指定した時間コントローラが使用されなかった場合、SLEEPモードに切り替わります。
コントローラのジョイスティックまたはボタンを操作すると、SLEEPモードは終了します。

[↑ MAIN SETUP →]
4. SLEEP : OFF

ブザー

ボタンを押したときにピープ音が鳴るように設定することができます。

- ON: ボタンを押すたびにピープ音が鳴ります。
- OFF: ボタンを押しても音は鳴りません。

[↑ MAIN SETUP →]
5. BUZZER : ON

終了

カメラとコントローラ間で通信信号が減衰するのを防ぐには、コントローラがカメラとコントローラ通信ループから遠い位置にある場合は、コントローラの終了オプションを<ON>に設定する必要があります。コントローラがカメラとコントローラ通信ループの中にある場合は、終了オプションを<OFF>に設定します。

[↑ MAIN SETUP ←]
6. TERMINATE : ON

メニュー設定

ジョイスティックのシリアルコマンド転送サイクル

ジョイスティックを使用するためのPTZシリアルコマンド転送サイクルを選択します。

- 転送サイクルを短くすると、カメラの応答速度が速くなります。

[↑ MAIN SETUP ◆]
7. JOY SPD : 100MS

- ! ■ ジョイスティックのシリアルコマンド転送サイクルを短くすると、特定のカメラモデルではコマンドが適切に処理されなくなる可能性があります。
このような誤作動を防止および解決するには、転送サイクルを長くします。

パスワード

コントローラのパスワードを設定することができます。
新しいパスワードを入力してください。

[↑ MAIN SETUP]
8. PASSWORD : ****

- ☑ ■ デフォルトのパスワードは“4321”です。

- ! ■ デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。
パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連問題が発生した場合は、ユーザーの責任となります。

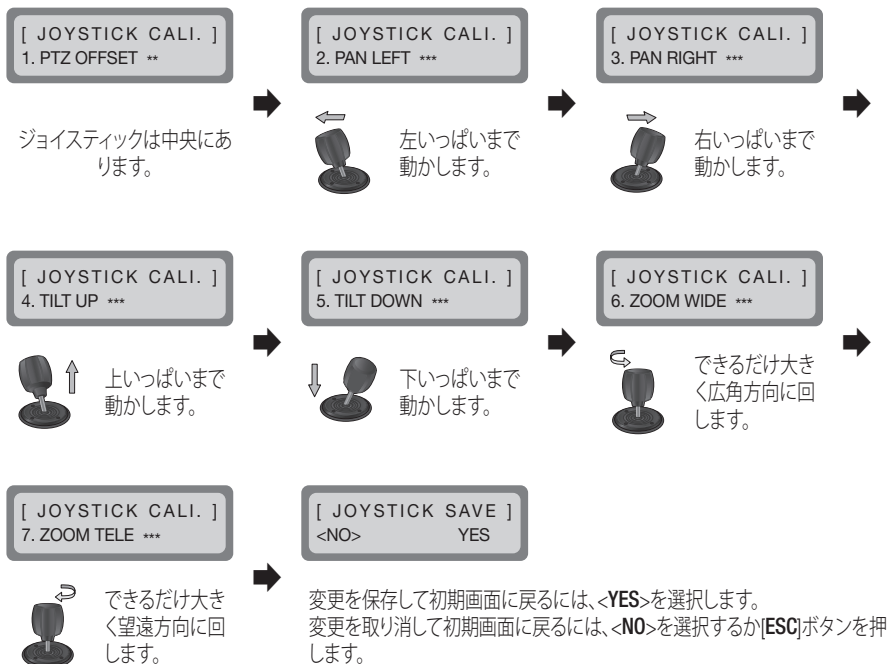
工場出荷時の設定

コントローラの現在の設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットし、ジョイスティックの校正を最適化します。

[↑ MAIN SETUP]
9. FACTORY SET ▶

ジョイスティックの校正

1. 数字パッドで[4]を押します。
2. [SETUP]ボタンを押し続けて、ジョイスティック校正モードを表示します。
3. 各オプションで、ジョイスティックをできるだけ大きく動かし、[ENT]ボタンを押して校正します。



付録

仕様

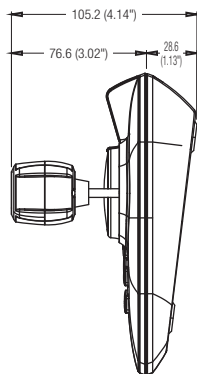
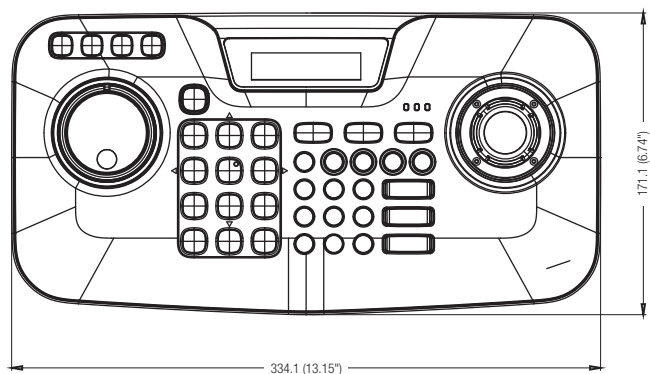
項目		説明
通信		
通信方式		RS-485/422
ボーレート		2,400~57,600 bps
互換性		PTZ/DVR/RECEIVER
プロトコル	PTZ	SAMSUNG-T/E, PELCO-D/P, Panasonic, Vicon, AD, Honeywell, BOSCH, ELMO, GE
	ズーム	SCZ
	DVR	SRD (SRD-480Dではサポートされていません。)
	受信機	Samsung-T
操作関連		
LCDディスプレイ		16 x 2文字のLCD
ジョイスティック		3軸ツイストズーム
ジョグシャトル		DVD再生の制御
OSD		英語

環境関連	
動作温度	0°C ~ 40°C
動作湿度	20%~85% RH
電力関連	
入力電圧/電流	12 VDC
消費電力	1.1W
機械関連	
寸法(WxHxD)	W334.1 X H171.1 X D105.2 mm(13.15 X 6.74 X 4.14インチ)
重量	800g

付録

製品ビュー

単位: mm (インチ)



トラブルシューティング

症状	対策
電源がオンになっていない場合	メインユニットとアダプタ間の接続を確認してください。接続に問題はないが問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。
ジョイスティックが動かない、またはコントローラボタンを押せない場合	コントローラボードに問題がある可能性があります。お近くの販売店にサポートについてお問い合わせください。
コントローラでカメラを制御できない場合	- コントローラとカメラ間のネットワークケーブルを確認してください。 - コントローラのPTZ/DVRモードおよびIDが正しく選択されているかどうか確認してください。 - コントローラとカメラのプロトコルおよびシリアル設定を確認してください。
パスワードをお忘れの場合	販売店に問い合わせてください。



Hanwha Visionでは環境保護のため、製品製造の全工程で環境に配慮しており、より環境に優しい製品をお客様にお届けするため数多くの措置を講じています。
エコマークは、環境に優しい製品を創り出すHanwha Visionの意志を表すとともに、それらの製品が欧州RoHS指令に準拠していることを示しています。

